

## 主な政府の方針:

### ○「日本再興戦略」改訂2016

外国人旅行者等の一人歩きや快適な滞在を可能とする「おもてなし」の実現のため、IoTやクラウド等を用いた属性情報の活用や事業者間連携により、先進的かつ多様なサービス提供、決済環境の実現等に向けた実証を行い、2020年までに社会実装化を目指す。

### ○世界最先端IT国家創造宣言

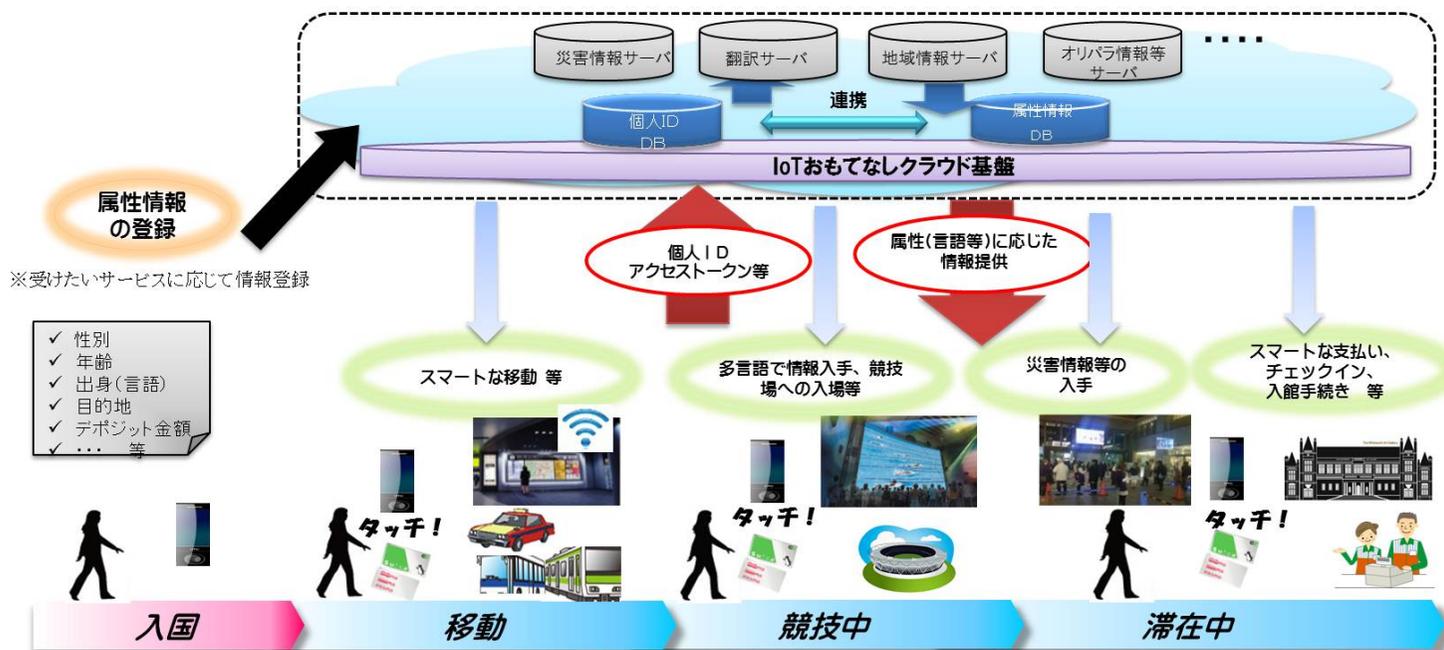
交通系 IC カードやスマートフォン、クラウド基盤等を活用し、個人の属性情報に応じた情報提供等により、訪日外国人を含め、誰もが最適な情報の享受や一人歩きをできる快適な環境を構築する取組を推進。

## 概要:

- IoT時代の技術進歩の成果を踏まえ、訪日外国人等のスムーズな移動、観光、買い物等の実現に向け、スマートフォン、交通系ICカードやデジタルサイネージ等と、共通クラウド基盤を活用した多様なサービス連携(個人の属性・言語等に応じた情報提供や支払手続の簡略化等)を可能とするため、複数地域で実証を実施。

## 目標:

- 2020年に向けて、我が国における訪日外国人の行動を支援するための仕組みを確立する。



## サービスイメージ(例)

- 災害時等緊急時において、災害情報、避難所情報、交通情報、避難経路等をデジタルサイネージとスマートフォン等を連携させて安全に誘導。
- ホテル等宿泊施設のチェックイン、パスポートのPDF化、公共競技場や美術館・博物館等の入退室管理
- 主要観光地やショッピングモール等におけるデジタルサイネージで利用者の属性(言葉等)に応じた情報提供、ショップ、レストラン等で多言語等表示、買い物可能等。  
( 自国語での言語表示、障がいに応じたバリアフリーマップの提供、ハラル情報等が表示され安心して食事等)

# 都市サービスの高度化～IoTおもてなしクラウド事業の推進

- ◆ IoT時代の技術進歩の成果を踏まえ、訪日外国人等のスムーズな移動、観光、買い物等の実現に向け、スマートフォン、交通系ICカードやデジタルサイネージ等と、共通クラウド基盤を活用した多様なサービス連携(個人の属性・言語等に応じた情報提供や支払手続の簡略化等)をめざす。

共通クラウド基盤  
＜IDとひもづけて属性情報を管理＞

カード等のIDと  
ひもづけられた  
属性情報を登録

サービスに応じて  
属性情報を提供



個人の属性情報を登録

- ✓ 性別
- ✓ 年齢
- ✓ 出身(言語)
- ✓ 目的地
- ✓ パスポート情報
- ✓ チケット情報 等

個人

サービスの提供

＜サービス例＞



競技場への  
スムーズな入場



レストランでの  
食の禁忌情報伝達



競技場内等で  
座席まで案内



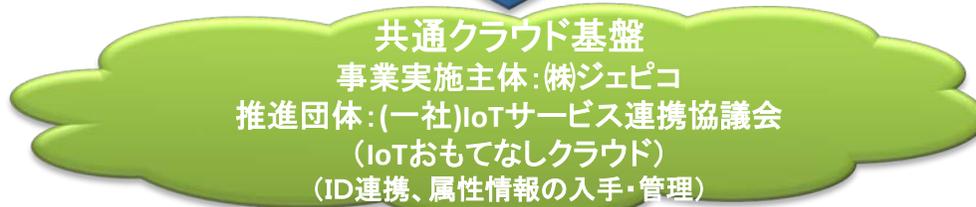
ホテルへのスムーズな  
チェックイン

企業

# IoTおもてなしクラウド事業の全体像・推進体制について

## 共通クラウド基盤整備事業

総務省



交通系ICカードと各サービスIDを紐付け、様々な利便性を向上



## 地域実証事業

総務省



(実証内容例)

### 千葉・幕張・成田地区

- 属性情報やリアルタイムな動線情報に応じた適切なサービス・情報の提供
- 目的地までの自動ナビゲーションや入場・決済等の簡略化

など

(一社)おもてなしICT協議会

### 渋谷地区

- 街のイベント入場時にICカードやスマートフォン等で楽しむ仕組みを構築
- 回遊行動誘発拠点において、属性情報に応じたコンテンツを配信

など

(一社)渋谷クリエイティブタウン

### 竹芝エリア

- デジタルサイネージを連携し、緊急災害時等の情報を多言語でリアルタイムに一斉配信。
- デジタルサイネージとスマホの連携による観光情報等の最適な入手。

など

(一社)CiP協議会

### 港区地区

#### 六本木・虎ノ門エリア

- ホテルやのチェックイン手続きや販売店での免税手続きを効率化
- レストランにおける言語・食の禁忌などに対応したメニュー表示

など

(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会

#### 乃木坂エリア

- 美術館の入館チケットの電子化、チケットレス入場
- 属性情報に応じた表示言語、表示内容等の最適化

など

(一社)IoTサービス連携協議会